

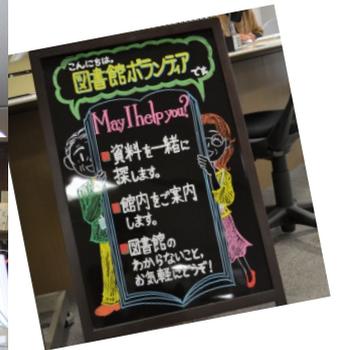
# うたがき

筑波大学附属図書館 ボランティア広報紙

第 25 号 2017 年 3 月 発行

## CONTENTS

- ① 活動の場から
- ② フィールドワーク 2016
- ③ 平成 28 年度登録状況
- ④ 主な活動



# フィールドワーク 2016

## 活動の場から

### その1 ～総合案内カウンター～

総合案内活動は利用者からの反応を直接感じられる。電子図書館化が進み、図書館に足を運ばなくても多くの情報を手に入れられるようになった現在でも、棚に資料が見つからない、或いは初めての所で勝手がわからないという利用者は一定数存在する。そんな時に一緒に棚まで歩きながら図書館の説明をしたり、図書館利用のちょっとした tips をお伝えすること、目当ての本が見つかって喜ばれる姿を見ることなどがこの活動の楽しみの一つである。そして、一緒に本を探しながらのやり取りを経て利用者本人から、また彼らが探している本から或いは書架までの行き帰りの途中で偶然目に入った本からの刺激で新しい読書の世界が広がることもある。人の役にたち、自分にも資することができる得難い活動と言えるだろう。

### こんなことしました～～♪

#### \* ペッパー君の朗読会 \*

5月27日(金)、筑波大学図書館情報学図書館のコミュニケーションスペースで、人型ロボット「Pepper」による朗読会が開催された。初めにラジオ体操で身体をほぐしてから、星新一の「きまぐれロボット」、宮沢賢治の「セロ弾きのゴーシュ」などを読んでくれた。残念ながらペッパー君は朗読のみで紙芝居をめくるのは人がやらなければならない。どうしても棒読みになってしまうことも今後の課題のようだ。



#### \* エンパワースタジオの見学 \*

8月3日(水)、学内のグローバル教育院 エンパワースタジオを見学した。

平成27年11月12日に完成したスタジオは幅25m奥行15m高さ7.8mと非常に広くその中でバーチャル世界が映し出される。訪れたことのない外国の



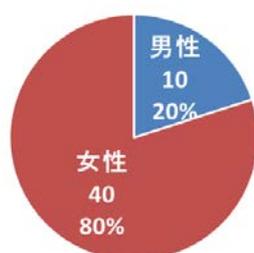
街並みや横浜中華街を歩いてみたり、災害状況を作って避難シミュレーションをするなど、普段は出来ない体験が出来た。

### ボランティアの登録状況

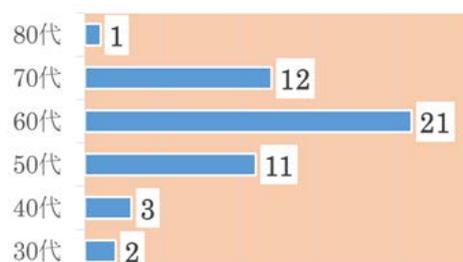
### どんな方たちが？

平成28年度登録者： 50名 平均年齢62才 女性が8割

#### 男女別



#### 年代別



## \* 岐阜一泊研修 \*

9月29日(木)～30日(金)

毎年恒例の有志による宿泊研修。今年は岐阜の「メディアコスモス みんなの森」に行った。現代建築の第一人者・伊東豊雄氏の設計で、不燃加工した美濃和紙のブラインドや岐阜特産の東濃絵がふんだんに使われている。

幼児連れの人のための配慮がなされていたり、児童学生の育成を目指すエリアや市民の集会発表に使える舞台空間やギャラリーがあったりと、あらゆる市民が満足して利用したくなる空間が目白押しだった。

当図書館職員やボランティアの方々ともお話する時間もいただいた。もちろん、名物の鵜飼や岐阜城、昆虫博物館なども見学、大いに岐阜を満喫した。



## \* 国立国会図書館見学 \*

12月1日(木)、職員2名、ボランティア10名が図書館見学に参加。地下の書庫を見せてもらうことができた。東京本館には地上4階から地下8階までの書庫に約4100万点の資料が所蔵されており、年間受入れは80万点を超えるそうだ。

書庫への虫や埃の侵入を防ぐため靴にカバーを付け、エレベーターで地下8階まで一気に降りた。地下に収蔵するメリットは、外気の影響を受けにくいこと、温湿度の変化が少ないこと、地震に強いこと、地上の景観を損ねないことにあると言う。東日本大震災で、地下書庫では資料が1冊も落下しなかったというのも驚きだった。



## \* 新年かるた会 \*

1月27日(金)、ボランティア新年会と留学生への日本文化紹介を兼ねて、大学会館4階和室でカルタ会を開いた。留学生8名、ボランティア13名が参加。お抹茶とお菓子を楽しみながら、皆で百人一首をしたり、水習字(墨の代わりに水を使う)をしたり。留学生にはお抹茶を立てる体験もしてもらった。参加した留学生は皆日本語も堪能で、ボランティア同士の交流のみならず、学生さんとの交流も楽しめた。



## \* フォローアップ研修 \*

1月25日(水)、「LA(ラーニング・アドバイザー)」の活動について学んだ。LAとは、2階の学生サポートデスクで学生の学習支援活動をしている大学院生を指す。現在6名の研究分野の異なる大学院生が活動している。このシステム導入の背景には、大学での学習の流れが自主学習を重視するようになったことがある。活動内容は、学習相談、ライティング支援、新入生ガイダンス登壇、「ブックログ」での蔵書紹介など。活動は5年目に入り、年齢の近い院生は、利用者の大学生にとって身近で頼りになる存在だ。

## \* 国際子ども図書館 \*

1月31日(火)学外自主研修で国際子ども図書館を見学。唯一の国立の児童図書館として「子どもの本は世界をつなぎ未来を拓く！」という理念の実現を目指している。

建物は、明治39年帝国図書館として建設され、昭和4年に増築が行われたレンガ棟と、平成27年完成のアーチ棟からなっている。レンガ棟には、随所に帝国図書館当時の趣が残されていた。その古い建物の中に、この図書館の理念を実現させるための新しいしつらえが施されていた。子どもの本へのアプローチに配慮した書架、天井の照明、良質な選書など、大人でもわくわくする空間だった。



## 主な活動・・・こんなことをしています

ボランティアは中央図書館と体育・芸術図書館で活動しています。活動時間は毎週月曜日から金曜日の10時から16時(午前のシフトは10:00～13:00、午後のシフトは13:00～16:00)です。現在、つくば市及びその近郊の市民、約50名が活動しています。



### 総合案内

図書館利用者すべてに対する、館内の資料配置の案内やパソコンによる資料検索の手伝い。館内巡回。



### 利用環境整備(シェルフリーディング)

中央図書館及び体育・芸術図書館の書架の整理、不明図書の探索、図書ラベルの補修。



### 美術展ポスター整理(体育・芸術図書館にて)

全国の美術館・博物館から送られてくる展覧会ポスターの掲示とデータベース化。



### 図書修理

専門的な製本技術を使った図書の修理。



### 見学案内

新入生、留学生、中高生、一般、海外からの見学者に図書館を案内する。



### 対面朗読

視覚障害者のための対面朗読。館内での資料探索の支援。



### 日本文化紹介

月1回の勉強会と年3～4回の、主に留学生を対象とした折り紙講習会。新年かるた会。



### 広報

広報誌「うたがき」、「図・ボラ」の会報の発行



### ☆うたがきのあとがき

図書館ボランティアも 2015年に20周年を迎えた。(その間、IT技術の進歩は目覚ましく、ボランティアの意識もスキルも向上した。) この20周年を区切りに、「うたがき」を一新することとした。これを手にした方に、「へえ～、こんなボランティアもあったの」と思っていただけたら嬉しい。(Y.H.)

編集:筑波大学附属図書館ボランティア広報部  
発行:筑波大学附属図書館  
〒305-8577 茨城県つくば市天王台1-1-1  
TEL 029-853-2348 (アカデミックサポート課)

開かれた大学図書館として広く学外の利用者の方々に開放しています。  
詳しくは、<https://www.tulips.tsukuba.ac.jp> をご覧ください。

\*筑波は遙か昔に歌垣の習俗があった地。色々な人の声を聞き応え合うことで繋がり、発展を生み出すことを望み広報紙「うたがき」としました。